

一般質問通告一覧表

◆10人が質問を行います。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
神細工 宗宏	1. 山間地域の人口増加、移住を受け入れる環境整備について	<p>この問題には6月議会でも触れました。その後企画課でもどの様な支援策があるかなど、調査していただいたと認識しておりますので、何らかの回答がのちほど有るものと期待していません。</p> <p>内閣官房が2020年1月に実施した調査によれば、東京圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）に住む20代から50代の人たちの49.8%が「地方暮らし」に関心があると答え、ほぼ2人に1人が地方暮らしに関心を持っています。</p> <p>このうち、もともと地方出身で、進学や就職、転勤などで東京圏に住むようになった人たちについては、61.7%と約6割もの人が地方暮らしを考えており、東京圏出身者よりも関心が高いことがわかっています。</p> <p>また、年代別では、中高年層よりも若い世代の方が地方暮らしに関心を持つ傾向があることもわかっています。</p> <p>また別の調査では、「ふるさと回帰支援センター」が2021年7月29日～8月4日までに15000人を対象に行った調査では、移住先として地方を希望している人は推計309万人であることが分かったとあり、さらに移住検討と新型コロナウイルス感染症の影響について調査したところ、「影響がある」と回答した人はおよそ3割。7割は新型コロナとは関係なく移住を考えていることから、地方移住はコロナ禍による一過性のブームではないことが推察されるとあります。</p> <p>企画課長は6月議会の答弁の中で、「行政としてはソフト面での大滝地域に住みたい、子育てをしたいと思われる取組の方を進めてまいりたいと考えております」とのことでしたが、住みたいと思われる方に提供できる、程度の良い空き家や宅地が無ければ意味が無いことだと思います。</p> <p>私は6月議会でも大滝地区にすぐに住める程度の良い空き家を探すか、子育て世代に限定した格安の宅地分譲が必要であると言ってきました。</p> <p>その後の空き家実態調査の結果、町内の空き家総数は357戸で、問題の無い空き家は48%ということで、約170戸が放置されていない、適切に管理されている空き家という結果を拝見しました。その中で「住める空き家」について健全なうちから利活用についての意向を確認とありましたが、先に述べたことと今回の調査を踏まえて以下の質問をします。</p> <p>【問1】「内閣官房」の調査、「ふるさと回帰支援センター」の調査結果を見て、毎回言っていますが移住促進の今がチャンスだと思いませんか。</p> <p>【問2】ソフト面での大滝地域に住みたい、子育てをしたいと思われる取組と空き家と空き地の確保の問題は、同時進行で無ければならないと私は考えていますが、行政の考えは。</p>	企画課長

		<p>【問3】空き家実態調査の中で、「住める空き家」の内、大滝地域ではどの程度あるかをお聞かせください。</p> <p>【問4】6月議会で、多賀町への移住の相談が14件あるとのことでしたが、その後どのようなになったのか。また、現在は何件あるのかお尋ねします。</p> <p>【問5】子ども議会の中でも、大滝小の存続や大滝地区の活性化や多賀町の人口減少対策など、山間地域・大滝地区の少子化に対する質問が出ていました。小学校の高学年や多賀中学校の子ども目線からも、危機感を持っていることが伺えました。行政は、山間地域がどのレベルになれば公費を投入しての対応を行うのかお尋ねいたします。</p>	
	<p>2. 山を整備する上での施策について</p>	<p>今年度「大滝山林組合」の皆伐及び再造林の計画は、杉の約60年～80年生を当初2.73ha、搬出予定材積は820m³でありました。</p> <p>林道の対岸は、ラジキャリまたはスイングヤードで架線を張って搬出する計画をしていましたが、架線を使用するの搬出では、赤字になる試算が示され、対岸の皆伐及び再造林を断念し、皆伐面積は1.32ha搬出予定材積も500m³程度の約半分に縮小せざるを得なかったのが現状です。</p> <p>この問題は各林道が河川脇を通っており、林道側の山の手入れ、搬出間伐・皆伐・再造林と言った適切な森林の循環が可能ですが、原木単価が上がらない限り、林道の対岸の森林は伐期を迎えても皆伐は出来ず、間伐も切り捨てて間伐を行うしか方法がない現状にあります。</p> <p>架線が張れない現状を打開できるのは、各林道に1箇所でもいいので橋の存在だと考えます。橋を架けるには大きな予算が必要ですが、河川の狭い場所で短い橋を架ける方が少しでも経費を削減できる方法だと考えます。</p> <p>また、大滝山林組合の中で、一番大きな面積を抱える森林を通っている林道「向野(むかいの)林道(りんどう)(線)」ですが、非常に荒れていて、トラックに木を積んで走れる状況ではありません。びわこ東部森林組合の管理林道ですが、令和2年12月議会の一般質問で林道の管理に対してお尋ねしたところ、産業環境課長は「本町管理林道につきましては、春の雪解け後、豪雨や台風などの後に点検を行い、破損等が確認されれば補修等を行っております。びわこ東部森林組合、大滝山林組合、彦根市犬上郡営林組合の管理林道につきましては、町管理林道の点検時に合わせて点検を行うよう声がけをし、破損等があれば相談を受けております。また、補修等につきましては、施工延長等に応じた補助金を現在交付しております。」との回答でした。</p> <p>今遭遇している問題について、次の質問をします。</p> <p>【問1】林道対岸の整備の現状を把握しているのですか、またその問題を解決する計画はあるのですか。</p> <p>【問2】向野林道(線)の整備補助に関し、現時点でびわこ東部森林組合からの相談はありましたか。</p>	<p>産業環境課長</p>

竹内 薫	1. SL 公園の跡地について	<p>昭和 51 年 11 月に SL パークがオープンし、当時はたくさんの観光客が賑わっていましたが、時代の変化とともに衰退し施設が閉鎖され、その後は長い間放置されていました。</p> <p>平成 29 年 10 月に愛知県豊田市在住の石川 昭氏が多賀町を訪問され、「日本の産業遺産である D51 SL 機関車を修復し、多くの方に鑑賞・体験できるように保存したいので引き取りたい」との申し出があり、今年の 9 月中旬に石川氏に無償譲渡がされました。</p> <p>その公園跡地は、今は空き地となっていますが、次の 2 点についてお聞きします。</p> <p>①公園跡地は現状復旧の後、敏満寺区への返却が基本と考えますが、復旧にかかる費用はいくらか。</p> <p>②また、返却をしない場合、何か有効活用の考えは。</p>	企画課長
	2. 新型コロナウイルス感染症の第 8 波への対策について	<p>今年の夏の第 7 波では、予想を超える感染者数が増加したことから、医療機関をはじめ保健所・県のサポートセンターなどで、その対応に現場がパニック状態となっていました。</p> <p>そのため高熱などの自覚症状により、「自分は感染したかもしれない」と受診のために病院へ行っても、なかなか診察を受けられず、不安や心配になった町民の方も多数おられたのではないのでしょうか。</p> <p>よって、国や県が行う対策だけでは対応に限界があり、町が来たる第 8 波への何らかの対応が必要だと思います。</p> <p>そこで以下の点について、お聞きします。</p> <p>①第 7 波を踏まえ、町としての独自の取り組みの考えは。</p>	福祉保健課長

富永 勉	1. 学校給食費等の無償化について	<p>学校給食費等の無償化は、豊郷町では県下で逸早く、平成30年度から実施されています。</p> <p>また、甲良町では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して令和4年度末までの学校給食費等を無償化にし、まだ未確定ではありますが、令和5年度以降も引き続き無償化を続け、子育て世帯への支援をおこなうことを検討されていると聞き及んでおります。</p> <p>本町では、地方創生臨時交付金を活用し、多岐にわたり支援をおこなっていただいていることに感謝するところですが、近隣の町で子育て世帯への支援に力を入れている姿を見ると、久保町長の施策方針の一つである「子育て・教育熱心な町づくり」を掲げる本町でも、今一度検討できないものかと考えます。</p> <p>議会では、令和元年度の幼児教育・保育の無償化に併せ、副食費の無償化についても慎重に議論し、その後、令和3年9月第3回議会定例会において、同僚議員2名より、「小中学校給食費の保護者負担の軽減」、公費での「幼児教育における副食費全額負担」について、一般質問がなされていますが、無償化には至っておりません。</p> <p>当時の判断でもありますが、現在のコロナ禍・物価高騰から抜け出せない社会情勢の中、時代に応じた、また将来を見据えた検討が必要と考えます。</p> <p>学校給食費等を無償化するのか、否か、また無償化とするのであれば一時的な支援とするのか、恒久的な支援とするのかも合わせ、まずは検討が必要と考え、次の点について伺う。</p> <p>① 学校給食費の無償化の考えは。</p> <p>② 就学前施設の副食費の無償化の考えは。</p>	教育長
	2. 国道307号沿いの盛り土地の利活用について	<p>現在、本町では多賀スマートインターチェンジ整備事業が鋭意進められ、下り線の供用開始の時期が見えてきたところです。</p> <p>下り線においては、町道四ツ屋胡宮線の道路改修、また国道307号では進入路としての右折溜まり、路面の切り下げが計画されており、着々とハード面での整備がおこなわれています。</p> <p>供用が開始されれば、自ずと整備された町道・国道を通り、県内外から多くの方が本町を訪れることとなるのですが、この時、本町をアピールできるものはないものかと考えます。</p> <p>その場所としては、SLが撤去された跡地から東側の谷を見ると広い法面が見えます。また、その奥は町民グラウンドまで続く広大な敷地があります。</p> <p>この場所は以前に、町行政より法面に桜を植樹し、その奥の敷地を桜公園にするとの説明を受け、その後、シカによる獣害などで植樹ができないと聞き及んではいますが、現在は草が生繁っている状態です。</p> <p>県内外の方が、多賀スマートインターチェンジを利用して多賀町を訪れる、その玄関口として、この土地を利活用できないものかと考え、次の点について伺う。</p> <p>① 再度、桜の植樹、桜公園化する考えは。</p> <p>② 法面の景観整備、観光を目的とした活用の考えは。</p> <p>③ 敷地を利活用する考えは。</p>	企画課長

<p>近藤 勇</p>	<p>1. 地域、民間で取り組まれる文化・芸術活動への支援制度の確立について</p>	<p>過日、絵馬通りで飲食店を経営されている店舗で、著名な劇団を招かれることをお聞きしました。</p> <p>私は、文化・芸術に詳しい知識、見識を持たないところですが、広辞苑によると文化とは、人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果。衣食住をはじめ技術・学問・芸術・道徳・宗教・政治など生活形成の様式と内容を含む。また、人間の精神的・内面的な生活に関わるものを言うとなっています。</p> <p>芸術とは、特種 material・技巧・様式などによる美の創作・表現であり、造形芸術(彫刻・絵画・建築など)、表現芸術(舞踊・演劇など)、音響芸術(音楽)、言語芸術(詩・小説・謡曲)などに分けることもあるとなっています。</p> <p>そこで興味深々に店舗を訪ねさせていただきました。</p> <p>この劇団は、「クラウン」という欧米の伝統的な笑い、系統的な表現で、見た人がとても楽しめる、喜ばれる、記憶に残る作品を届けていただける方達とお伺いしました。</p> <p>私も当日、公演を拝見しましたし、公演を見られた皆さんの様子や感想をお伺いすると、とても楽しく、大変、喜ばれており、正に芸術に親しまれていたと感じたところです。</p> <p>また、店舗にお伺いした時に、他にも「能楽」、「マリンバの演奏」など、さまざまな取り組みをされていることも知りました。</p> <p>本町では、文化・芸術の分野では生涯学習課が主となり、多賀結いの森で「ささゆりコンサート」、「TAGA多賀町コンサート」、また町民大学では「東北楽天ゴールデンイーグルス 則本選手のトークショー」等さまざまな講座を開催されていることは承知していますが、先ほどのような地域、民間で取り組まれる活動も地域の活性化に大いに繋がるのではと強く感じたところです。</p> <p>町行政では、限られた予算の中での工夫、また公演していただく方の情報を得ることに苦勞されているのではと思いますが、地域の方、民間の方がお持ちのネットワークに頼る、望まれている芸術・文化のテーマを行政の知り得る範囲に限らず、広くに求めることで、「地域の活性化」、「心豊かなまちづくり」に繋がると考え、次の点について伺う。</p> <p>① 地域、民間で取り組まれる文化・芸術活動への支援制度の確立について</p>	<p>生涯学習課長</p>
-------------	--	--	---------------

山口 久男	1. 子育て支援の更なる拡充を求めることについて	<p>物価高騰による国民の生活への負担が深刻な状況になっています。その中で、政府は国民に医療や介護の負担増を次々と押しつける政治を行っています。</p> <p>当然のことながら、町民の暮らしにも影響を与え、子育て世帯等の負担は日に日に増える一方です。</p> <p>そのような状況の中で、町の少子化対策、子育て支援を推進するため、以下の2点について伺います。</p> <p>①学校給食の無料化は、学校給食は教育の一環であり、憲法第26条で義務教育は無償とすることを定めている。国に対して給食費の保護者負担をなくすことを求めると同時に、町としても給食費の無料化を含め、保護者負担を軽減する考えは。</p> <p>②子ども医療費助成（無料化）について、高校卒業（18歳）まで通院費の助成を実施している自治体は、全国1,741市区町村のうち、半数近い817にまで広がっている。多賀町でも高校生まで医療費助成を拡充する考えは。</p>	①教育長 ②副町長
	2. 学校施設の整備について	<p>多賀小学校区では、児童数の増加により普通教室の不足が見込まれるが、その対応はどうか。今後の学校施設の整備計画について、以下の3点について伺います。</p> <p>①来年度以降の児童数の推移、学級数はどうか。</p> <p>②多賀小学校区の児童数の増加による多賀小学校の普通教室の不足を、どのように対応するのか。</p> <p>③学校施設の現状と学校の長寿命化計画、学校トイレの改修・洋式化を含む計画の見直しはどうか。</p>	教育総務課長
	3. インボイス制度導入による町の対応について	<p>9月議会において、上下水道を受注している事業者へインボイスの発行を求めるのかとの質疑に対し、「上水道、下水道事業について、インボイス発行事業者として登録を済ませている。上下水道事業において仕入れ税額控除を行う必要があることから、相手事業者に対しインボイス発行事業者であることを求めることになる」と想定している」との答弁がありました。</p> <p>その後の対応と町が発注する事業者への影響はどうか再度伺います。</p>	地域整備課長

大橋 富造	1. 学校施設・設備整備について	<p>文科省が令和7年度末までの実施を目標にしている公立小・中学校などの施設のバリアフリーを進するため、以下の主な目標が出されている。</p> <p>(1) 車椅子使用車用のトイレ・・・避難所に指定されているすべての学校に整備 (2) 二つ目はスロープ等による段差解消・・・正門から建物の前まで、昇降口・玄関などから教室等までをいずれもすべての学校に整備 (3) エレベーターの設置 (4) エコスクールの整備 (5) 屋内外運動場の整備など</p> <p>また、本年度の調査結果も紹介されていて、その内容は次のとおりとなっている。</p> <p>(1) 車椅子使用車用トイレの調査結果では、避難所指定の全学校の整備完了は24.5%であった。また、令和7年度末までに整備完了は8.4%、令和8年度以降に整備完了と答えた学校は25.8%で全体の58.7%が着手するとの結果が示されているが、その反面、整備予定のない学校も全体の15.7%となっている。</p> <p>(2) 段差解消(門から建物の前まで)の調査結果では、全学校の整備完了は38.8%、令和7年度末までに整備完了が8.4%で全体の47.2%と少し対応が遅いと感じる。令和8年度以降に整備完了見込みの自治体は16.9%で遅くとも4年後には64%の公立小・中学校などの施設では設備整備が完了見込みである。</p> <p>(3) エレベーターについては、質問の解釈にバラツキが出る可能性があったため、集計結果は紹介されなかった。</p> <p>以上の点を踏まえ、次の3点についてお伺いします。</p> <p>①町内3校の学校施設、設備整備の現状はどうなっているのか。 ②令和7年度末までに文科省が掲げている実施目標についての今後の見通しは。 ③今後、情報通信設備や自家発電機、蓄電器、避難スペースへの空調設備、マンホールトイレ、飲料水設備、調光照明、シャワー・更衣室、備蓄品の管理体制等、防災機能の強化に向けた対策を行っていると思うが、現段階での多賀町の防災機能の進捗はどうか。</p>	①② 教育総務課長 ③総務課長
	2. エコスクールの整備について	<p>近年、脱炭素化への注目が高まっており、学校でも環境を考慮した「エコスクール」の整備が推進されている。学校施設に導入している設備で全国的に最も多かったのは、太陽光発電設備である。多賀町の公共施設でもいくつか導入実績があるが、現在の学校施設での整備状況と各施設内のLED化等の省エネ化の計画をどのように考えているのかを伺う。</p>	教育総務課長
	3. 学校施設の老朽化への対応と維持管理について	<p>町内の学校も老朽化が進んでおり、今後はどうのように施設を維持管理していくのか難しい状況である。特に多賀小学校の北校舎や給食室屋根の老朽化は進んでいるため、先送りできない問題にもなっているが、老朽化にかかる整備には多額の費用が必要である。</p> <p>財政状況が厳しい中、今後どうのように学校施設や設備の整備を行っていこうと考えているのか、町長の見解を伺いたい。</p>	町長

		<p>また、多賀中学校のグラウンドは年々雑草が増え、野球部があった頃は管理の行きとどいたグラウンドであったが、今は雑草が一面に生え、小動物やシカの糞など散乱しており、環境によくはない状態となっている。</p> <p>以前のようなグラウンドにしようと思えば、年2回 PTA 除草やボランティア、教職員の対応だけでは限界があると思います。早めに補正予算を計画し、来春までに早急なグラウンド整備が必要と考えるがどうか。</p>	教育総務課長
木下 茂樹	1. 関ヶ原踏破隊歓迎の問題点は	<p>「関ヶ原戦跡踏破隊」は昭和35年第1次から、今年で第63次となりました。第2次から脇ヶ畑の保月地区との交流が始まり、昭和49年に「妙円寺詣り」の誘い、訪問となり、昭和59年に旧伊集院町と兄弟都市盟約に発展してきました。</p> <p>「関ヶ原踏破隊」は日置市直轄交流ではありませんが、兄弟都市盟約の基礎となる団体で、相互の民間交流が基礎となって発展してきた経緯があります。</p> <p>この間、台風襲来の1回とコロナ感染拡大の2年間の計3回が中止となりましたが、今年、事前の1人感染者を除く12人で来町され、途中の感染・事故もなく薩摩義士の思いを完遂されました。</p> <p>10月22日、日置市へ「妙円寺詣り」親善使節団で訪問し、久保町長は照国神社から妙円寺まで約22kmを踏破され、日置市から賞賛されました。</p> <p>今年度当初の「関ヶ原戦跡踏破隊」日程は、コロナ対策も含め、岐阜県大垣市時山地区からの徒歩は止め、マイクロバスをレンタルして保月を経由し、栗栖の調の宮神社から結いの森まで徒歩と、今までと異なる計画と伺っていました。</p> <p>しかしながら、7月中旬に「急ですが時山からのルートで、国道365、306号を、提供を受けた乗用車で栗栖へ行きます」との変更があり、なぜ保月を通らないのかと思い、私は大君ヶ畑から権現谷林道を通り、時山へ向かいました。</p> <p>原因は、町林道が林業従事者の車両すら通行に支障をきたす状況であったと、推測に至りました。五僧峠から大垣市時山地区まで間4.3kmは、木々の枝葉を避けて通れる状況で、五僧峠から保月間は、樹木・枝葉の通行障害は19カ所、道路上には割れた石が散乱し、タイヤバーストを避けながらがやっとの通行でした。</p> <p>マイクロバス通行は不可能なので、「関ヶ原踏破隊」の変更判断の真意は存じませんが、本町の林道管理が出来ていない状況もあり、大垣市との林道管理との違いを感じました。</p> <p>「関ヶ原踏破隊」の通過で、保月地区との長年の交流、日置市との兄弟都市盟約の歴史から「関ヶ原踏破隊」には、一層の援助・協力が必要と思われます。</p> <p>「関ヶ原踏破隊」は、本町と直轄交流でないため低姿勢で行動されていると思われますが、本町の対応担当課は受け入れ全般は生涯学習課、林道整備は産業環境課、県道整備は地域整備課、宿泊は以前福祉保健課と、縦割り行政の弊害を感じました。</p> <p>今年の「妙円寺詣り」訪問に、日置市は3日間総務部職員が2人で付ききりの対応して頂き、歓迎・対応の深さを実感しました。</p> <p>「スポーツ少年団」の剣道、柔道の交流訪問も中断していますが、兄弟都市盟約と鳥取県三朝町の友好都市盟約で、交流担当課を統一される事を提案します。</p> <p>「関ヶ原踏破隊」は、8月の第一土曜日が当町到着と固定されています。</p>	生涯学習課長

		<p>大垣市時山から栗栖調の宮までマイクロバスの提供、宿泊所を「多賀結いの森」から「大滝山林組合・高取山宿泊所」の利用に出来ないか問います。</p> <p>また、本町小・中学生と栗栖調の宮からの合同徒歩、関ヶ原合戦、「関ヶ原踏破隊」の歴史など、交流を深める事も必要ではないでしょうか。</p> <p>保月地区出身者は「関ヶ原踏破隊」到着日に帰省され、歓迎の受け入れをされています。この保月出身者の方々の歴史的思いにも助成が必要と思われます。</p> <p>そこで以下について問います。</p> <p>①「関ヶ原戦跡踏破隊」総括担当課は。</p> <p>②宿泊場所の変更は。</p> <p>③マイクロバスの利用助成は。</p> <p>④子ども間の交流は。</p> <p>⑤保月地区への助成は。</p>	
	<p>2. 完全離村からの地域おこし助成は</p>	<p>脇ヶ畑地区から最終在住者が離村されたのが平成16年頃と言われ、約18年が経過しています。</p> <p>毎年、『関ヶ原踏破隊』が8月第一土曜日に来町があり、保月の照西寺を休息地として提供頂き、出身者の方々も帰省され出迎え行事をされています。</p> <p>関ヶ原合戦では、徳川軍の敵陣突破、敗走で通った脇ヶ畑地区で食や治療の提供があったのではと推測されています。</p> <p>今年の『関ヶ原踏破隊』は、通過ルートの変更とコロナ禍で、3年間も保月訪問・通過がなく、残念に思っておられる方も多いと思われます。</p> <p>昨年からは、保月出身者の方々が地域おこしの一環として、キャンプ場や研修所の開発に向け企画・作業されています。</p> <p>自らのルーツを伝承していくため、先祖の歴史的偉業を継承する一員として、共に今生きる仲間として、脇ヶ畑地区に思いを寄せる方々がおられます。</p> <p>地域おこしボランティアは、近隣市からだけでなく京都から毎週帰省され重機作業されている方もあり、元住民の方々が参加される地域おこしは、今後の過疎化、過疎地の開発におけるヒントがあるように思われます。</p> <p>冬期は在住のない保月地区において、自然の中のキャンプ地や関ヶ原踏破隊休憩地、鍋尻山・高室山登山やハイキング、寺社行事・帰省など季節的な要素もありますが、清潔で衛生的な座居トイレの設置は不可欠です。</p> <p>しかし、現状の『公衆トイレ』は、看板だけで全く定をなしてはいません。</p> <p>「合併浄化槽」の設置・管理は困難と思われる中、『バイオトイレ』が先見事例として、東近江市のキャンプ地、景勝地にあり、検討して頂きたいものです。</p> <p>また、地形上から、鍋尻山、高室山付近で毎年「災害ヘリコプター」の訓練を実施していますが、離発着場はありません。</p>	<p>企画課長</p>

		<p>滋賀県内では今年 10 月末現在で、山岳遭難が 77 件、3 人の死亡事故があり、夏には東近江市でキャンプ中に 2 人の行方不明の事例もありました。</p> <p>過去には、消防署職員殉職事故もあり、ドクター・災害ヘリポート訓練基地にも成り得ます。保月の学校跡地は脇ヶ畑地区唯一の適地であり、樹木伐採されれば設置条件はクリアできると思われる、災害発生の初期対応が叫ばれる今だからこそ、離発着場の設置は必要と思われます。</p> <p>出身者方々の郷土への地域おこしに対し、助成制度の検討と、今後、他の離村集落の在り方、地域おこしのモデルとして、脇ヶ畑地区の地域おこしについて問います。</p> <p>①脇ヶ畑地区地域おこしの助成は。 ②バイオトイレの設置は。 ③ドクター・災害ヘリポート申請は。</p>	
川添 武史	1. 町の財政状況について	<p>総務省は、平成 27 年度に全国の各自治体へ「統一的な基準」に基づいて財務書類を作成するよう通達を出している。</p> <p>本町も当初の「基準モデル」から「統一モデル」に変更し、同クラスの他自治体との比較が出来るようになったが、基本は今までの「現金主義会計」だけでなく、企業が採用している「複式簿記会計」である。</p> <p>多賀町の HP では、その最新データは令和 2 年度までだったが、去る 11 月 8 日に開催された総務常任委員会の閉会中調査で、京都みやこ税理士法人の廣瀬氏より多賀町の財務指標分析結果の説明を受け、多賀町の財政状況を確認した。</p> <p>今のところ、おおむね健全財政であることを確認したが、再度資産の状況および今後の活用をどのように考えているのか。</p>	副 町 長
	2. 令和 5 年度の予算編成について	<p>令和 3 年度の決算は、9 月定例会において認定されたが、予算額 48 億 400 万円に対し、決算額は歳入が 56 億 9, 370 万円、歳出が 53 億 9, 103 万円の差引残額は、3 億 267 万円となっている。</p> <p>当初予算額と決算額の差額 8 億 8, 970 万円は、11 回の補正予算で繰越金の約 2 億円、国庫支出金の「定額給付金、地方創出交付金」などコロナ感染症対策で大幅に増額となった。</p> <p>令和 4 年度の当初予算は昨年度と比較すると、「久徳うぐいすこども園」の建設等により、9 億 4, 600 万円増の 57 億 5, 000 万円となった。さらに、9 月定例会の補正予算によって 3, 691 万円増の 61 億 895 万円となり、増額分の 3 億 5, 895 万円は、繰越金の約 2 億円と国・県の支出金となっている。</p> <p>令和 4 年度も残り 4 か月となったが、今後の見通しはどうか。</p> <p>また、各課からの予算要求に基づいて、来年度の予算編成を行っていくと思うが、令和 3 年度実績と令和 4 年度の経過を鑑み、令和 5 年度の予算編成のポイントは何か。</p>	副 町 長

清水 登久子	1. 災害時の避難対応について	<p>例年、災害時に備えて避難訓練を多賀町でも行っていますが、ここ2、3年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、訓練の実施もままならない状態が続いています。</p> <p>しかし、地震や火事などいつ発生するかわかりません。もしもの時に備え、日ごろから避難訓練などを行って、防災意識を高めておくことが大切だと思います。</p> <p>災害は、いつどこで発生するかわかりません。地元ならともかく、どこか訪問先で、またいつ何時に遭遇するかわかりません。</p> <p>多賀町でも、もしもの時に備えているいろいろと災害の発生した場合の対応を考えておられると思いますが、次の5点について、お聞きしたいと思います。</p> <p>①避難所前には案内看板がありますが、町内の主要道路から誰にでもわかる誘導看板は設置されていますか。なければ設置予定はありますか。</p> <p>②なかなか男性には相談やお聞きしづらいことがあると思いますので、各避難所には女性職員を配置していますか。また、避難所は町内外在住者を問わず、利用は可能でしょうか。</p> <p>③多賀中学校が避難場所に指定されていますが、山の上となっているため避難しづらいという声を多く聞きます。多賀中学校に代わる避難所を設けてもらえませんか。</p> <p>④町民の方々に防災意識を高めていただくため、町行政としてどのような啓発活動を行っていますか。</p> <p>⑤災害時の様々な備蓄用品を多賀町でも確保していただいています。ライフラインが遮断され、大変困るのがトイレだと思います。住民用の簡易トイレを町で確保するというのは、物理的に難しいと思いますので町民の方が自主的に確保していただく必要があると思います。何か方策は考えておられますでしょうか。</p>	総務課長
--------	-----------------	--	------